

未だに行われ続ける 「組合脱退強要」

私は今、白河研修センターに行っています。研修に行く前には「絶対組合はやめない」という気持ちでした。しかし、その思いは負けてしまい、脱退せざるをえなくなりました。

その理由は、まわりの研修生から「おい革マル！まだ抜けてないのか！」「お前一人だけだぞ！」と言われ続けました。そんな研修の日々を過ごしたある時、ふと東労組本部のホームページで、「不当労働行為は抗議をすれば止まる」という情報を見て、私も「俺はやめない！」と主張しました。

「これでもう言われたい」と思ったらとんでもない。日に日に「早くやめろ！」だとかエスカレートするじゃないですか。全然、本部のホームページの情報と違うじゃないですか。私は耐えられなくなって脱退を決意しました。

本部のホームページには不当労働行為の文字が一言もないので、東京地本のホームページを見たら、白河で起きているようなことがあらゆる職場で起きていることを知り、悔しくて悲しいです。自分が弱いのもあるんですが「早くこの不当労働行為をやめさせて、混乱する前の楽しかった職場に一日でも早く戻ってほしい」という思いでここに書き込ませていただきました。

こんな目に合うなら、研修なんて行かなければよかったと後悔しています。

団体交渉で実態を主張しても解決されず、会社から「管理者の皆さんへ」の文書が出されても、「組合脱退強要」は引き起こされ続けています！

社会にも広めながら、たたかいを強化していこう！